第２回 オンライン研究会

ろう教育《考》～きたくまノート(高橋真里)の視点から～

なぜ、自分は、国語の授業で、読みたくなかったのに教科書を音読しなければならなかったのか。なぜ、気が付いたら学校生徒全員がグラウンドに出ていて、自分１人だけ校内に取り残されていたのか。高校時代のことを思い出すと、必然と、それ以前の聾学校時代(幼稚部・小学部・中学部)までさかのぼって、付随する思い出が手繰り寄せられてくる

2019 年 12 月、SNS 上で、こう綴り始めた「きたくまノート」(https://note.com/truecountry)。北海道の聾学校で幼児教育（幼稚部）と義務教育（小学部、中学部）を受け、一般の高校で聴者の生徒と共に学校生活を送った高橋真里さんは、「・・・それを『許す、許さない』でもなく、過去を『捨てる、捨てない』でもなく、『忘れる、忘れない』でもなく、当時の自分に手紙を書くような気持ちになっているときがある・・・」と言います。

しかし、「きたくまノート」に綴られた内容は、単なる過去のできごとではなく、今に至る、聴覚に障害をもつ幼児、児童、生徒と向き合う教育現場への問いかけでもあります。例えば、『「熱心に」「一生懸命」といった言葉をふりかざす先生と私たちは、どこかかみ合っていなかった』との「きたくまノート」の「見出し」は、その根っこに鋭い問いかけが隠れています。

今回のオンライン研究会は、学校（幼・小・中・高）時代の自身への整理として書き続けている「きたくまノート」筆者の高橋真里さんとの《対談》を通して教育現場が受け取るべきメッセージを考えます。そして、後半は、研究会参加者との質疑応答に加えて、同じ北海道出身（ほぼ同年代）の佐沢静枝さん（NPO 法人しゅわえもんメンバー）がサブゲストとして加わり、教育現場への問いかけと意見交換を行います。

対談担当者：新井孝昭（ろう・難聴教育研究会）

【開催日時】2021 年 2 月 27 日(土) 13:30~16:00

（オンライン開催のため、Zoom ソフトを最新バージョンに更新してご参加下さい）

【進行概要】（手話通訳、文字通訳あり）　13：30～14：00　受付（待機時間）

14：00～14：05　開始挨拶＆お知らせ
14：05～14：50　高橋真里さんの話（対談形式）←質問、意見を文字形式で随時受ける。
14：50～15：00　休憩・質問対応準備
15：00～15：50　サブゲスト紹介、質疑応答と意見交換
15：50～16：00　挨拶(副会長)　　アンケートのお願い

【申込方法】

１）申込締切：2021 年２月 20 日(土)、24:00 まで。

２）参加費：会員は無料、非会員は 500 円（**下記ゆうちょ銀行口座へ振り込んで下さい。手数料はご負担下さい**）

●郵便振替の場合　**（振込者が「ゆうちょダイレクト」の登録を郵便局で行うと振込が無料になります）**

口座番号：00110-2-314972　　加入者：ろう・難聴教育研究会(旧 TC 研)

●他の金融機関から振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行(金融機関コード:9900)　　店名：〇一九(読み:ゼロイチキュウ)

口座番号：当座 0314972　　加入者：ろう・難聴教育研究会(旧 TC 研)

３）申込アドレス：**下記 URL** から、**参加登録**をお願い致します。

https://zoom.us/webinar/register/WN_lFIAbmEIS32TaHDNB26qTw

登録されると、Zoom ミーティング参加のための URL、ID、パスコードなどがその場で周知されます。

（本研究会を YouTube でライブ配信する予定です。詳細は、当会 HP に掲載します。）